

野田ひろきからの手紙

2015年度
冬の便り



千葉県初！
平成生まれの議員！

本日も、張り切っていきましょう！

こんにちは。流山市議会議員の野田です。年末年始、皆さんは、いかがお過ごしでしょうか。私は、飲んで語って、流山の風靡な姿を再認識している、今日この頃です。さて、今回は、12月に行われた議会のご報告です。上程議案は、各種補正予算、部設置条例の改正、指定管理者の指定、等々。議事に絡めて、私の想いを記します。議場での詳しい討論は、流山市議会のHPをご覧ください。

Q 今年度から、事業化された政策法務推進事業で、どのような効果がありますか？また、職員向け政策法務研修において、条例案を一から作り上げるワークショップを行ってはどうですか？

A 事業によって、政策法務担当者の能力が高くなり、庁内の政策法務力向上につながります。ご提案は検討の余地がありますが、金銭的、人力的に難しいため、現行の研修にできるだけ、取り入れます。

政策法務力とは、自ら法令を解釈・運用し、条例を制定、戦略的に政策を打ち出す法務力のことです。2000年の地方分権改革を受け、流山市でも、平成23年度から、弁護士資格を持つ、特定任期付き職員を採用し、政策法務力の向上に、注力しております。今年度からは、ついに、この政策法務に関する業務を、政策法務推進事業と事業化するに至りました。効果が気になりますね。さて、ここからが勝負！

Q 流山おおたかの森駅北口の1haの市有地に、商工課の職員を配置、オフィスの誘致や起業促進イベントを実施する等、起業・就労支援に注力し、経済振興に活かしてはどうでしょうか？

A 商工課の職員を配置する予定はありませんが、集合住宅部でSOHO的な利用を可能にする、多目的ホールやバンケットで大規模なイベントを行うなど、幅広い利用を検討しています。

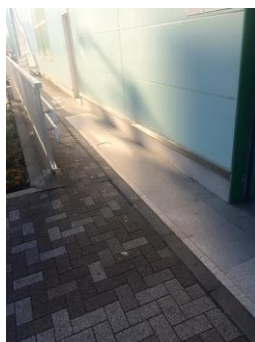
おおたかの森北口を経済拠点にしたい。実は、提案への反応は、イマイチでした。しかし、裏返せば、「北口はホールを中心とした文化の拠点にもなれる！」という前向なメッセージも受け取れます。詳しくは、裏面にも記事を書きましたので、ぜひ！

Q 子育てに優しい街のため、伺います。①十太夫近隣公園の計画に近隣住民の声は届いていますか？②坂川沿いの小道に自転車禁止のような看板を立てられませんか？③先日、南流山駅北口スロープの凹みの修繕をお願いし、完了してもらいました。今も残る、段差はなくせませんか？

A ①十太夫近隣公園は来年度から段階的に開放されます。遊具の他、森林浴のできる緑道や、大きな広場を作り、多くの方に利用されるように工夫いたします。

②国土交通省の管轄になるのですが、協議にあたります。

③野田議員ご指摘後、すぐに簡易修繕し、後に工事も完了しました。ただ、段差については、障害者の移動時の目印になるよう、あえて残してあります。



南流山駅北口 工事前 (10/27)



同 簡易修繕後 (10/28)



同 工事後 (11/26)

子ども・子育て新制度の実施

12月に開催された定例議会においては、29つの議案、1つの請願、3つの陳情、4つの発議を審査しました。議案の1つ、一般会計の補正予算案は、「子ども・子育て支援新制度」の実施に伴う、各補助金の名称・枠組み等の改正もあり、725,892,000円という大幅な増額補正でした。そのため、歳入歳出の増減への質疑に合わせて、新制度が目指す方針が実現できるよう、体制の確認を行いました。新制度では、子育て中の全ての家庭を支援するため、施設の量的拡充、質的向上を目指しています。これから、新制度による新たな財源を元に、保育園、幼稚園、こども園、児童クラブ、地域型保育（新設の制度）の数や職員配置、職員給与の改善を行っていきます。また、新制度は、市で行うサービスの充実のためにも、新しい財源が得られる仕組みです。制度の詳細については、内閣府子ども・子育て本部が「すくすくジャパン！」と称して、ウェブサイトやパンフレットを作成しているので、流山市のホームページと共にご活用ください！

「母になるなら、流山市。」を唱う流山。私は、新制度等を通して、ハード面（施設）の強化とともに、ソフト面の充実も注力すべきと考えています。①職員の全件面談・全戸訪問、②母子手帳のアプリ化を推進するなど、市の提供するサービスの向上を目指します。

おおたかの森駅北口の活用

TX沿線整備と新川耕地・周辺特別委員会等において、今、流山おおたかの森北口が盛んに話し合われています。現在、北口駅前すぐにある市有地1haについて、①多目的ホールと（仮称）市民窓口センターを有する公共施設、②商業施設、③バンケット付ホテル、④集合住宅の4つの施設を置いて活用する計画が進んでいるのです（下記、予定）。広域行政の観点からも、この1haにどのような機能を置くべきか、また、置くことができるのか、「投票所」、「パスポート」など様々な声が飛び交っています。

- ① 公共施設：音響に配慮した、515席の多目的ホール、市民窓口、相談室、会議室、サロン。
- ② 商業施設：カフェ、フラワーショップ、子育て支援施設。
- ③ ホテル：11階建て、168室、3つのバンケット付。
- ④ 集合住宅：13階建て、176戸の分譲住宅、75戸のオフィス利用可能な賃貸住宅。

表面の一般質問にて言及したように、私は、この北口を（文化の拠点としては勿論のこと）、経済拠点にできないか、と考えています。柏の葉にあるワーキングスペース「koi」のような空間を作り、起業支援、経営支援、営業支援を行うことで、まちに活気が生まれます。また、現在、空き地になっている所に、大きな施設がいくつも立つ訳ですから、自治会や学校の受け入れ体制、近隣住民の行動経路、通学路問題についても、議論しなければなりません。次回以降の一般質問等を使って、具体的な設備や収容人数、収益性を確認の上、提案を重ねていきます。

流山市議会議員 野田宏規（無所属）

【生年月日】平成元年4月13日（26歳）【身長・体重】176cm 60kg

【略歴】千葉県流山市出身。芝浦工業大学柏でラグビー部に所属後、同志社大学へ進学。バックパッカー一つで諸外国を回り、世界の人々と社会を話し合う。卒業後、一般企業に就職、帰郷するも、変化の著しい故郷に想いを強くする。2014年12月末をもって一般企業を退社、流山市議会議員選挙に出馬し、1902票を獲得、初当選。議会では、総務委員会とTX沿線整備と新川耕地・周辺特別委員会に所属。休日はボーイスカウト。

【近況】閉会中は、和歌山市、富田林市、市川市、柏市等に視察。最近は、一昔前ではありえなかった、ラグビーセブンスの試合が地上波放送されているので、嬉しさと同時に、驚きを隠せない。

野田宏規は、所属する委員会等に関わらず、全ての議会や報告会への参加を心掛けています。どんな疑問点でもお問い合わせください！

【お問い合わせ先】

野田ひろきと共に考える会

メール：nodahiroki1989@gmail.com

HP：http://www.nodahiroki1989.com



携帯やスマホをかざして、野田ひろきの活動をチェック！